

第6回 地域課題解決＋クリエイティブトーク「表現とともにある場所」



フットリアー & バユナ・ナゴヤ・フレンズ「サマサマ」撮影 | 三浦知也

Date | 2025.10/17 Fri 19:00-21:00



撮影 | 岡松愛子 | 画像提供 | 港まちづくり協議会

Guest | 青田真也 アーティスト / Minatomachi Art Table, Nagoya  
[MAT, Nagoya]、アッセンブリッジ・ナゴヤ共同ディレクター

宮田明日鹿 アーティスト / 港まち手芸部企画



折元立身「26人の港まちのおばあさんのランチ」撮影 | 三浦知也





## 第6回地域課題解決＋クリエイティブトーク「表現とともにある場所」

人が集まり、表現が交わる時、私たちは物事の意味や価値を新しく見つめ直すことができます。アーティストやまちの人、さまざまな人びとが場をともにし、それぞれの表現を行うことは、異なる立場を超えて互いを尊重しあえる、より豊かな場所へとつながるのではないのでしょうか。

トークイベントでは、名古屋の港まちを拠点とし、アートを軸に活動する2名のゲストをお招きします。現代美術の展示やアーティスト・イン・レジデンス、まちなかを舞台にしたフェスティバルなど多様なプロジェクトを展開してきた「Minatomachi Art Table, Nagoya [MAT, Nagoya]」「アッセンブリッジ・ナゴヤ」の青田真也さん。そして、編み物を介して地域住民との関係を育む「港まち手芸部」を立ち上げたアーティストの宮田明日鹿さん。異なる立場で活動続けてきたお二人のお話から、アートやアーティストが地域に関わることで生まれる変化を紐解き、より良い場づくりのヒントを探ります。

### Minatomachi Art Table, Nagoya [MAT, Nagoya]

名古屋の港まちをフィールドにしたアートプログラム。名古屋港エリアでまちづくりを推進する「港まちづくり協議会」が母体となり、旧・文具店を再生した「Minatomachi POTLUCK BUILDING」(港まちポットラックビル)を拠点に、現代美術の展示やスクールプログラム、空き家を資源として活用する「WAKE UP! PROJECT」など、約10年間さまざまなプログラムを展開してきた。



長島有里枝「ケアの学校」

### Assemblebridge NAGOYA アッセンブリッジ・ナゴヤ

音楽と現代美術のフェスティバルとして、名古屋の港まちを舞台に2016年よりスタート。2015年度から2020年度は、港まちにある公共空間や空き家を会場に、これまでの歴史や人びとの暮らしに向き合いながら、アーティストとともに展覧会やコンサート、イベントなど多様なプログラムによるフェスティバルを毎年開催。2021年度からは「アーティスト・イン・レジデンス (Artist in Residence) = AIR」を中心とした、新たな活動を始動。港まちを舞台にアーティストや表現者がまちに滞在し制作や活動を行うことで、まちや人びとが芸術と出会いながら、新たな文化が育まれていくことをめざしている。



港まちブロックパーティー2023 撮影 | 三浦知也

### 港まち手芸部

宮田明日鹿が企画・運営するアートプロジェクト。名古屋港区「港まちづくり協議会」の提案公募型事業として2017年から2023年まで採択され、現在は委託事業として9年目を迎えている。世代や地域を超えて人々が集い、「手芸を学び合い、人生を分かち合う場」そして「家の中のことを外へとひらく実践」として活動が続いている。



撮影 | 山田憲子 写真提供 | 港まちづくり協議会

日時 | 2025年10月17日(金) 19:00-21:00  
場所 | デザイン・クリエイティブセンター神戸 (KIITO)  
3階 KIITO:300  
参加費 | 無料  
定員 | 30名程度(事前申込制、先着順)

お申込みはこちら



ゲスト |



青田真也

アーティスト / Minatomachi Art Table, Nagoya [MAT, Nagoya]、アッセンブリッジ・ナゴヤ共同ディレクター



宮田明日鹿

アーティスト / 港まち手芸部企画

撮影 | 三浦知也  
写真提供 | アッセンブリッジ・ナゴヤ実行委員会

身近な既製品や大量生産品、空間の表面やカタチをヤスリで削り落とし、見慣れた表層や情報を奪い去ることで、それらの本質や価値を問い直す作品を制作している。主な展示に、2014年「MOTアニュアル2014」(東京都現代美術館)、「個展」(青山 | 目黒、東京)、2018年「青田真也 | よりそうかたち」(Breaker Project、大阪)、2019年「アイチアートクロニクル1919-2019」(愛知県美術館)、2023年「Material, or」(21\_21 DESIGN SIGHT、東京) などがある。また名古屋港エリアのアートプログラムの共同ディレクターも務める。

桑沢デザイン研究所卒業(ファッション、テキスタイル専攻)。テキスタイル、ファッション、現代美術の領域で手芸、改造した家庭用電子編み機などの技法で作品を制作。近年では、手芸文化を通して様々なまちの人とコミュニティを形成するプロジェクトを各地で立上げている。おしゃべりしながら手を動かし、様々な世代が学び合い、何気ない会話を交わすなかで、見過ごされてきた出来事や家のなかの事柄も社会と密接につながっていることを参加者自身が再認識する作業を試みている。

### アクセス

- 阪急・阪神神戸三宮駅、JR三宮駅より南へ徒歩約20分
- 神戸市営地下鉄海岸線三宮・花時計前駅、ポートライナー貿易センター駅より徒歩約10分
- 神戸市バス29系統三宮ターミナル前より乗車、税関前(デザイン・クリエイティブセンター前)下車
- 連節バス「Port Loop (ポートループ)」三宮駅前より乗車、KIITO前下車

※一時利用駐車場あり、満車の場合は、お近くのコインパーキングなどをご利用ください。



主催・問い合わせ | デザイン・クリエイティブセンター神戸 (KIITO)  
〒651-0082 神戸市中央区小野浜町1-4  
TEL 078-325-2235 E-MAIL [event@kiito.jp](mailto:event@kiito.jp)  
WEB <https://kiito.jp>

後援 | ユネスコ・デザイン都市なごや推進事業実行委員会